

平成 30 年第 1 回おおぶ文化交流の杜運営協議会

日時： 平成 30 年 5 月 22 日（火） 14：00～16：00

場所： おおぶ文化交流の杜 文化サポーター室

出席者： 委員 7 名／大府市（文化振興課田中課長・山本係長）事務局（JTB コミュニケーションデザイン：以下 JCD 総合館長野村・文化部門マネージャー森 図書館流通センター：以下 TRC 図書館館長峯岸・図書館部門マネージャー小倉）

発言者

議事録

事務局

本日はお忙しい中お集まり頂き、ありがとうございます。  
平成 30 年度第 1 回おおぶ文化交流の杜、運営協議会を始めさせていただきます。  
4 月より総合館長として着任致しました野村と、文化部門マネージャー森です。  
よろしくお願ひ致します。

司会

本日も忌憚のないご意見をお願いします。本協議会の規約に則り、委員過半数の出席の為、会議成立となります。

～H29 年度下半期文化交流部門より説明～

B 委員

資料 1 1 ページに、「会議室の椅子 机の汚れ、傷やガタつきが目立ってきている」とあるが、おおぶ文化交流の杜の施設備品類の更新計画はあるか。

J C D

備品の費用をあらかじめ設けているので、その中で運用していくことになるが、会議室を多目的に利用しているため、通常に比べるとハードな利用となっている。  
現状は施設管理部門と連携の上、上手に補修を行いながら利用しているが、どこかのタイミングで新たに購入ということも考えている。

B 委員

利用が深まればこういった問題が発生する。対策を考えていく必要がある。

J C D

利用者にケガがないことを一番に考えたい。

B 委員

年賀状木版画の講座は 4 回あったが、すべて金曜日の設定である。曜日をばらばらにするなど工夫すればもっと集客に繋がるのではないかと思うので、検討いただきたい。

J C D

参考にさせていただき、参加者のご意見も伺った上で検討したい。

E 委員

当館の SNS の発信で、インスタグラムは利用しないのか。

フェイスブックは活用しているようだが、中高校生は見ない（入れない）ので、インスタの方が SNS の連動を考えると良いかと思う。インスタ映えという言葉があるように、若い世代には文字より画像の方が有効で、若いお母さん世代にもアピールできると思う。

J C D

インスタ映えは流行語にもなる程なので、各所確認の上検討させていただきたい。

G 委員

こもればホールやスタジオなどの利用率は非常に上がっているが、使用料収入に関しては下がっている。この理由は何か。

J C D

ホールでいうと使用料収入は 4 7 万円下がっている。細かな分析までには至っていないが、近隣（広域内）の利用が多ければ使用料は下がる。

A 委員

広域外の方が、使用料が高いからということですね。

J C D

利用率は落ちていないので、用途・目的・利用者が違うことによって利用料に差が発生していると思っている。

G 委員

ホールと言っても舞台のみ利用の場合と全体利用の場合があるが、事業によって入場者が

定員を超えている場合があるが、定員の設定を教えて欲しい。

- J C D 音響機材や見切り（若干見づらい）席を省いて計画時には定員を設定している。  
ホールは実際には315席あるので、人気がある企画に対しては了解を得た上でぎりぎりまで販売している。
- G 委員 カルメラ音楽会などは200名定員のところ、290名入場したということですね。
- J C D 関係者の方が参加してくださったりもしているのでその数も含んでいる。  
非常に盛り上がったと報告を受けている。
- C 委員 全体の事業内容を見ると音楽・演劇関係がとても充実しており、おおぶ文化交流の杜設立の目的が、文化芸術を市民に浸透させることなのでとても良いと思う。  
美術・工芸については講座の方に多くあるので、それも含めて考えるとバランスが良い。  
0歳からの本格クラシックはとても珍しいコンサートだが、乳幼児の割合はどの程度だったか教えて欲しい。
- J C D 手元の資料では不明なので、調べてお答えします。  
⇒大人112名 子ども（小学生以下）86名 乳幼児データなし。
- C 委員 市民公募企画「あなたの夢奏でま SHOW」は、大府東高校の演劇部など次世代を取り込んで行う良い企画だと思った。また人生フルーツのホワイエの展示が素晴らしく、是非鑑賞してみたいと思った。allobu ティータイム女子講演会はとてもユニークな企画で、市民のニーズにあったのではないかと思われる。
- F 委員 アローブが出来たばかりの時にカルチャーフェスタに参加したことがある。今年は参加費用を徴収しているが、どのような団体が参加しているのか、どの程度のレベルなのか。
- 大府市 正直レベルはばらばら。力を合わせて合同作品を作るので、そこが一番すばらしいと思う。直前の練習は回数も多く、全体を構成するディレクターの方がとても大変だったと思うが、参加された方々はいろいろなことを学ぶよききっかけになった。
- A 委員 ディレクターは大府市民の方ですか。
- 大府市 ディレクターは岐阜の方ですが、大府市の中でそういった方が育っていくのが最終的な目的だろうと思う。
- E 委員 私の団体も誘われたが、合同作品の練習に参加することが難しく断念した。  
参加費用を徴収することには賛成。お金をお支払いいただくことで参加者の意欲や能力が伸びると思う。また舞台を作る上で、プロデューサーだけでなく舞台が円滑に進められるようにサポートして下さる方が必要だと思う。現状はメインとなる合同作品を盛り上げるプロがいない。舞台を作るのは時間制限があるので、総合的にまとめられる方がいれば、もっとカルチャーフェスティバルに参加する団体は増えるだろうし、内容的にも素晴らしいものになると思う。
- 大府市 今回は今のご指摘部分がけっこうしっかり出来たと思う。  
また先程話題になっていた allobu 女子会については、チラシの紙質から違いがあり、おしゃれな感じだった。やる側の思い入れが入った良い企画だったと思う。
- D 委員 全体的にとっても良くやっていると思う。時間曜日の設定も参加者のニーズに合わせている点が良い。女子会もおしゃれな感じでとても良いと思う。講師の方が講座の前日に大府市

のお店を回り、その話題も講座に盛り込んでくださったようですが、大府市の PR にもなってとても素晴らしいと思う。

大府市 ハートウォーミングジャズについては、出演者のご兄弟が大府市の出身であり、同級生なども多く足を運んでくれた。市民としても誇りになるかと思う。

～H29 年度下半期図書館部門より説明～

司 会 数字もよく、とても良い結果だと思う。ご意見ご質問などお願いしたい。

D 委員 サポーターグループ O.L.V. が図書館スタッフと一緒に欧米の絵本の歴史についての講座を行った。難しい内容なので参加者が集まるか不安だったが、多くの方の協力があり、成功して良かった。講座のもとになる冊子も作り、国会図書館や愛知県図書館を始めとし、近隣図書館にも配布することができた。大府の図書館にある本もリストアップしている。

A 委員 大府の図書館を知っていただくという意味でも、とても良いですね。

T R C 大府のサポーターさんはすごく進んでいて、他の自治体からうらやましがられている。

B 委員 資料 5 1 ページに椅子についての記述があるがどのような状況か。

T R C 2 階のサポーター室でイベントを行う際は席が足りないので、1 階のイスを運んでいる。そのため色々な問題が起きている。大府市で不要になった椅子があつたらいただけると有難い。

大府市 公民館にも確認して、もしあつたら連絡をする。

G 委員 愛三文化会館で大府市芸術祭「オイディプス王」を鑑賞した。パネル展示された解説がすばらしく難しい内容だっただけに有難かった。

D 委員 ネタバレしないように気をつけて作成した。

大府市 劇団の方も参考にしたと耳にした。おおぶ文化交流の杜と同じサポーターグループ O.L.V. さんの作成と知り、すばらしいと思った。

C 委員 あの解説がないと演劇の内容が分からなかった。とても良かった。

G 委員 野菜ソムリエの方を講師に迎えておこなったふるさと講座は、図書館の発想として意外性がありすごいと思った。

D 委員 夢幻百物語もとても良い内容であった。参加者が少なかったのは、幻能のハードルが高かったということと、金曜日の夜に設定した点が原因かもしれない。

ただ内容はすばらしく参加された方からも良い意見を聞いている。図書館のアプローチも良かったので、講師の安田先生もその後も協力的で良い関係が続いている。

野菜の提示もとても面白く良かった。模型はどこから借りてきたのか。

T R C 県の農業試験場から借りてきた。

D 委員 図書館に野菜があるインパクトがすごかった。いろいろな方面からのアプローチはとても良い。

大府市 ふるさと講座「村木砦と日本鉄炮史」で廣江氏の発表の場を作ってもらってよかった。

今後の研究への意欲に繋がったと思う。

安田先生の発表の内容は、きれいな日本語に触れることができ、分からない事も多かったが勉強のきっかけになってとても良かった。

全体として、行政上どこの部署でやるかはっきりしていない分野を、図書館が先取りして企画してくれるのはとても良いし、先進的な動きはすごいと思っている。

C 委員 図書館スタッフが行った人形劇もレベルが高く素晴らしい。人形も手作りされ、スタッフだけでこれだけのことができるのは、スタッフの意欲も高いし、職場の環境も良いのではないかと思う。

T R C 通常の業務も行っていかなければならない中で、自発的に練習をしたりして良いモチベーションを保っている。

#### ～H30 年度年間運営計画より説明～

司 会 ご質問ご意見お願い致します。

G 委員 目標数値のほとんどをクリアしているが、過去の資料を見直すと「満足度」がだんだん落ちてきているのが気になった。今後に向けて分析が必要だと思う。

28 年度に比べて落ちているのは、カルチャー事業満足度、施設利用満足度、デザイン塾参加者数、連携イベント実施回数、図書館市民向け講座満足度、図書館サポーターズクラブ情報意見交換機会などである。満足度はどのように図っているのか。

TRC/JCD 満足度はアンケート調査で図っている。

G 委員 目標はほとんど達成しているので、もっと上を目指すためには分析が必要。

B 委員 開館して 4 年もたつとマンネリ化が出てきているのかもしれない。

T R C 図書館の場合は、昨年とアンケート対象者が異なったのが結果に大きく起因した可能性も考えられる。今後は同じ条件でアンケートを実施していきたい。

C 委員 アウトリーチ活動があるが、どのくらい行うのが適正なのかが分からない。  
図書館のセレクトナは盛況で良いかと思うが、文化部門のアウトリーチをどのように考えているか教えて欲しい。

J C D 学校関係、一般の方々に向けてということで合計 2 回行っている。対象を明確にして広くアローブを知っていただくために考えて実施している。

D 委員 セレクトナはどのように考えて行っているか。図書館がアウトリーチというとその場で本が借りられない環境の中、難しさを感じる。

T R C 図書館のパンフレットを持参したり、図書館をパネルで紹介して広く知ってもらうように活動している。セレクトナとはお互い協力関係にあり上手くいっていると思う。ブックトークや調べ学習などもっとアウトリーチの機会を増やしていきたい。ただ運営とのバランスもあって中々難しいが、現在はルミナス大府という老人ホームにも月に 1 回訪問したり、公民館でヒーローショーも行っている。

C 委員 文化部門のアウトリーチについて、学校でも行っているようだが、学校はそもそも文化芸術活動を行っているので、さらにアローブが行う必要があるのか分からない。

大 府 市 アウトリーチは是非お願いしたい。スティールパンは企画として学校のものとは重なっていないので良いかと思っている。来館される人以外にもアローブを PR していきたい。

B 委員 図書館システムの更新計画はどのような状況か。

T R C 5 年でシステム更新を考えている。来年の 7 月 1 日までには利便性が良くなるように更新

を考えている。

B 委員 是非利用者の意見を聞き、取り入れて行って欲しい。

事務局 次回運営協議会、開催予定は平成 30 年 11 月 20 日の予定。

地域コミュニケーションを大切にして活動して行きたいと考えている。

今後ともよろしくお願いします。

司 会 以上で協議事項はすべて終了した。閉会。